

シクロケム 機能向上に γ CD利用を訴える 自社商品の売れ行き好調

プロポリスの機能を高める方法として、 γ シクロデキストリン(CD)による包接を提唱しているシクロケム。機能性研究も推進し、これまで

にニュージーランド産プロポリスで γ CD包接による抗腫瘍作用増強効果、フラジル産プロポリスでは炎症物質TNF- α の有意な減少を確認している。

同社では、これら研究結果を日本プロポリス協議会のセミナーなどで発表し、利用を勧めている。その中から先月、超臨界抽出プロポリスを γ CDで包接した商品が発売され、同社の寺尾社長は今後の展開に期待を寄せている。

一方、グループ会社のコサナでは、プロポリスにマヌカハニーを合わせたキャンデーと練り歯みがきを販売し、年々売上を伸ばしている。